



CASE #4

やがて職場で活躍する若い力が 命をつなぐ大切さを学ぶ ~相模女子大学~



明日の命を支えることになる若者たちが、
心肺蘇生法を学んだ。その真剣なまなざしに、
命の大切さを思う気持ちが表れていた。

管理栄養士をめざす学生が
心肺蘇生を学ぶ目的とは

神奈川県相模原市にある相模女子
大学で、第一回心肺蘇生実習が行わ
れた。

相模女子大学は、日本で4番目に
古いという歴史のある女子大学。こ
この栄養科学部管理栄養学科で学ぶ
3年生が、「臨床検査実習」の授業
の一環として行われた今回のプロ
ジェクトに参加した。

「管理栄養士は、病院、診療所、公
共施設などで業務を行うことが多い
ので、患者や相談者の急変に遭遇す
る可能性があります。また、チーム
医療の一員として働く際、初期救急
の基本的な知識が求められるでしょ
う。今はちょうど病院への実習を控
えた時期。タイミング的にも心肺蘇
生を学ぶにはぴったりでした」と、
授業を担当する増子佳世先生。

午後の授業開始が近づくにつれ、
ランチを楽しんだ後の学生たちがお
しゃべりを交わしながらホールに参
集。出欠のチェックを済ませた後、
トレーニングキット『ミニアン』を
受け取って、床に座り込んで開始を
待った。

知識はあっても
自信はないのが現実

「今日は臨床検査実習のスペシャル
版として心肺蘇生の実習を行います」。

いつもとは違って机のない授業に
戸惑い気味だった学生たちも、増子
先生の声に自然と集中力を高めてい
く。

「これまで心肺蘇生講習を受けたこ
とのある人は？」の問いに、学生の
半数以上が手を挙げる。自動車教習
所で体験した人が多いようだ。

「では、心肺蘇生に自信のある人
は？」と増子先生が続けると、挙がっ
ていた手が一斉に降りてゼロに。自
動車教習所などでの体験だけでは
はつきりと覚えていないというのが
学生たちの本音のようだ。

インストラクションDVDがセッ
トされ、いよいよ臨床検査実習が
スタート。学生たちは手にした
『ミニアン』の箱を、DVDに従って
開き、映像を見ながら体験を始めた。



「こんなに強く押すの？」
この実感が重要

DVDの説明は、わかりやすく、
テンポも心地よい。

箱の中からキットを取り出した
学生の間からは「持って帰って
いいんだって」「初めて見た、面白い
ね」などと声が上がっていたが、
すぐに画面に集中。笑い声も次第
に聞こえなくなり、DVDの指示に
従っていっせいにトレーニングを
始めた。

まず胸骨圧迫の練習。続いて氣
道確保から人工呼吸。

胸骨圧迫は、実際にやってみる
と見た目以上に重労働であることが
わかる。そのため、うっすらと汗を
浮かべる学生たちも。中には「こん
なに強く押しても平気なんです
か?」と戸惑いながら質問する学生
や、「真っ赤になっちゃった」と手
の平を見せる学生もいた。

胸骨圧迫30回、その後の氣道
確保と人工呼吸という一連の流れ
もスムーズ。真剣な表情で、トレ
ニングを続けていった。

実際に初期救急の場面に遭遇し
たとの想定でのトレーニングでは、
周囲の人への協力の呼びかけや、
119番の呼び方なども練習。恥
ずかしがらずに大きな声を出して
取り組む姿からは、自ら命を守る
使命感が見て取れた。

その後AEDの模型を用いて使
い方を練習。「短い時間なのに案
外疲れたね」という声とともに、
トレーニングは終了した。

授業の最後には、各自に配られた

用紙に感想を記入。さらに後日、
家族や友人にも『ミニアン』を体験
してもらい、そのレポートを提出す
ることが宿題として課せられた。

管理栄養士の卵たちを対象とし
た講習としては、日本で初めてと
なった今回のトレーニング。学生
たちのはち切れるような笑顔が、
その成功ぶりを伝えてくれた。

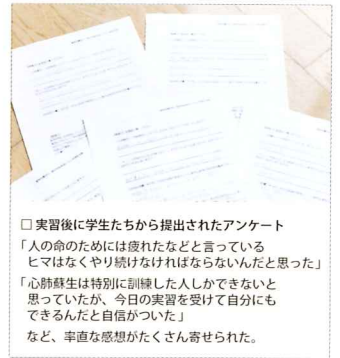
目の前の命を救いたい！
その思いを、行動に移すために。

相模女子大学
大学院栄養科学研究所
栄養科学部 管理栄養学科教授
増子佳世さん の話
医学博士、医師、総合内科専門医



着任して「臨床検査実習」の授
業を受け持った際に考えたのが、
臨床の現場で必要な幅広い知識を
身につけさせたいということとし
た。その一つがCPR・AED。た
だ、従来方式の心肺蘇生実習だと
一人当たりの体験時間が少ないの
が問題でした。そんな時に内科医
向けの講習会に参加したところ、
タイミングよく『ミニアン』に遭遇。
早速自分でも試してみても、これな
らというところで授業に採り入れる
ことを決めたわけです。

今回の授業では、学生たちは期
待した以上に真剣に取り組んでく



□実習後に学生たちから提出されたアンケート
「人の命のためには疲れたなどと言っている
ヒマはなくやり続けなければならぬと思った」
「心肺蘇生は特別に訓練した人しかできないと
思っていたが、今日の実習を受けて自分にも
できるんだと自信がかった」
など、率直な感想がたくさん寄せられた。

れました。命を救うためには知識
も大切ですが、実際に行動に移す
には、十分なトレーニングを積ん
でおくことが不可欠です。狙い通
りの成果が得られました。

自分自身の復習も兼ねて、学生
には『ミニアン』を持ち帰らせ、
家族や友人に体験してもらおうよ
う、指導しています。

他学科の先生や学生にも薦めた
いですね。

最初に自分で
体験してみました。

助手 高島満喜さんの話

増子先生から『ミニアン』を手
に「このキットを心肺蘇生講習に
使うのはどうかしら」と相談され
たので、もう一人の助手と一緒に
体験してみました。説明用のDVD
もわかりやすく、授業での効果
も高かったため、まずは助手仲間
を通じて学内でも積極的に広げて
いきたいと思っています。

授業を終えて 学生たちの声

トレーニングを通じて、
心肺蘇生のスキルを学んだ
学生たち。
その感想を聞いてみた。

VOICE 1

心肺蘇生については高校の授業や自動車
教習所で勉強したことがあります。けれ
ど習って終わりで、いつの間にか忘れて
しまっていました。『ミニアン』を使っ
てみて、これなら家でも復習できる
ので、忘れることもないと思いました。
早速やってみます。

VOICE 2

胸骨圧迫では、手が赤くなつてびっくり。
こんなにも力が必要とは、知りません
でした。以前体験したことがあるのに、す
っかり忘れていたんですね。DVDもわか
りやすく親切。一人で見ながら練習で
きるの、友だちにもぜひすすめたいと
思います。

VOICE 3

自動車教習所で習ったときより長い時間
トレーニングできました。そのせいか、
けっこう疲れたんですが、いい勉強にな
りました。私の家にはおはあちゃんがい
るので、万一来備えて、家族全員で練習
したいと思っています。

VOICE 4

『ミニアン』は場所を取らずに練習でき
るのがいいですね。何度でも繰り返し
やってみたいと思います。今は一人暮ら
して、今度のお正月には実家に帰省する
予定。もちろん『ミニアン』も持って帰
って、家族に教えてあげるつもりです。



心肺蘇生 自動体外式除細動器
CPR・AED学習キット
—ミニアン—
MiniAnne
構成品：マネキン、模擬AED、
学習用DVD、テキストブック、
模擬携帯電話、交換用肺、
マネキンワイフ、自己学習修了証

